# Dream of one day

秋乃長雨

# Dream of one day

秋乃長雨

グ

グ

なぁ
戦場ヶ原

私の声が聞きたく
なったのかしら

わからない
とこが

「僕の頭では理解不能
なのでひたぎ様に
ぜひ教えて欲しいです」
ということなのかしら

質問しかけただけで
そこまでバカに
されるものなのか

スピー

どうも阿良々木君は
この勉強が苦手なようね

だから教えて
もらってるん
だけど

じゃあ 阿良々木君の
好きな科目を勉強しましょう

え…好きな
科目なんて

せっくすの
授業よ

ぴい

ビ"ー
ビ"ー
ビ"ー

阿良々木君は一日に
何回自慰行為を
するのかしら

ん"な"こと
言えるか

カチャ
カチャ

ちなみに私は
阿良々木君のこと
を考えながら

3回は
しているわ

さらっと
凄いこと言った

阿良々木君は
優しいから

私が待ってと言ったら
いつまでも待って
くれるでしょ

阿良々木君の
全てを頂戴

ビクン
ビクンッ

ギュッ
もーみ

ヒクッ
ヒクッ
お おお…
ズリ
ニュル
ニュル
ニュル
はあ
ちゅぱっ
ちゅぱ
(はあ)
ちゅぱっ
ちゅぱ
ちゅっ
ちゅぱ
んちゅ

どう
阿良々木君…

れる れろ

ちゅっ

ん

ちゅっ

私の口
気持ち良い
かしら

ちゅっ

あったかくて…
とても
気持ちいい…よ

クニュ

リュッ

スリュ

阿良々木君の
いっぱい出して
いいのよ

ぺっ

ん

ルッ

ぴっ

ちゅっ

ぴっ

ケニッ

ビュッ

パっ

ちゅっ

ず

ん

ん

ちゅ

ハァハァ

ゴクッ

はあ

はあ

ビュクッ

すごいビクビクしてきたわね 出そうなの？

れろ

いっぱいかけて

阿良々木君の匂い いっぱい私につけて

ビュクッ

ビュクッ

ビュクッ

ビュクッ

んっ

ビュクッ

ビュクッ

ねぇ阿良々木君
あなたは私の
特別だから

私の変態
処女まんこに

ビク

阿良々木君の
熱いおちんちん
挿入れて欲しいの

ぐ

ヒク

ぱ

ヒク

ん…っ 全部…っ
挿入った…あっ

フル

むっ なかなか…
入らない
ものじゃな…

グッ

ぐぐ

ぐ

フル

ふんっ!!

あはっ はぁっ
夜這いというのも

なかなか
気持ちの良いっ…
ものじゃな

ビクッ

ビクッ

ズブッ

ズブッ

ズブ

き 気持ち良すぎて…

気をやってしまいそうじゃ

ビクッ

ビクッ

ギュ

はあ♡

ビクッ

あーっ♡

はあっ♡

ビクッ

阿良々木君っ!!

ズブ

ずっ

ずっ

ズブ

あららぎくぅんっ!!

キスっ…キスしましょうっ

ちゅくっ

んっ♡

ちゅ
ビクッ
あららぎくんっ
ハア
きもちいい
ハア
きもち
いいのぉっ!!
ハア
イテッ
可愛いよ
戦場ヶ原…
好きだ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

ちょろろろっ

ヒク

ヒク

ちょろ

ちょろ

っ

おちんちんす…ごビクビクしてるいいっ…いいっ

はあ

はあ

ズブ

ズブ

ぬぬっ

ズブブ!!

ズン

ズッ

ズン

ズッ

ワッ

はっ

きゅうにっ
はげしくうごき
はじめおって

んっ

そんなに
儂の中に射精したい
のかのっ

あっ

はっ

ハァ

ハァ

ハァ

戦場ヶ原…
もうっ 出そうだ

ばちゅっ

ずちゅっ

いいわ あららぎ君っ
あなたのっ
ちょうだいっ

ビクッ

ビクッ

ずっ

ぶっ

ずっ

ぶっ

いっぱい

私の中にいっ

あらぁ…ボレロぉ♡

ビュ

ドクッ

ドクッ

ビュ

トパッ
プッ
プッ
ポ
ビュー
ビュー
なんだもの？

もう…儂の中を
こんなにパンパンに
しおって

あふれてきて
おるではないか

ハフウ

まぁ…
つながったまま
寝るのも

めおと みたいで
良いかもしれぬの

もーっ
兄ちゃん!!

せっかく彼女さんが
迎えに来てるんだから
早く起きて準備しなよ!!

トントン

プン

プン

私が起こしても
良いかしら

はやく

ガッ

起きなさい

バキッ

わぁぁあああああ
兄ちゃんが
変態になったぁーっ
!!

ウフフフ…

阿良々木君…
私という者が
ありながら…

ナデナデ

いいのよ
阿良々木君
歪んだ性癖を
徹底的に矯正して
私以外に欲情しないように
してあげるから

イテェエエッ!!
ん 忍に皆…
なにしてんだ

ってな
なんじゃこりゃあっ!!

お前も十分歪んでいる!!
ってか忍
影に隠れてないで
説明しろぉおお!!

END